

患者の皆様へ

2021年12月1日

呼吸器外科

現在、呼吸器外科では、「ナチュラルキラーT細胞を用いた心不全治療」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では、2012年1月～2017年8月に当院で原発性肺癌と診断された患者さんの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「ナチュラルキラーT細胞活性化による慢性炎症制御に基づく新たな心不全治療の実用化に向けた基礎的検討」

2. 研究の意義・目的

循環器系の病気とナチュラルキラーT細胞活性化に伴う有害事象との関連を明らかにすることで、治療が難しい心不全に対する新しい治療法の開発に貢献します。

3. 研究の方法

原発性肺癌と診断され、臨床研究「切除不能進行期ならびに再発非小細胞肺癌に対する α -Galactosylceramide パルス樹状細胞を用いた免疫細胞治療」に参加して細胞の投与を受けた方の、年齢や性別、合併症、既往歴、心電図、血圧、脈拍数、血液検査を用いて、循環器系の病気と樹状細胞投与後の副作用発生の関連について検討を行います。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学医学部附属病院未来開拓センターの鍵のかかる保管庫で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関：千葉大学大学院医学研究院 免疫細胞医学

本件のお問合せ先：医学部附属病院 呼吸器外科

医師 本橋 新一郎

043(222)7171 内線7961